

どい かや 作「チップとチョコのおでかけ」「チップとチョコのおつかい」「チップとチョコのおるすばん」(文溪堂刊)

こいぬの兄妹 チップとチョコ

チップとチョコはこいぬの兄妹
きょうもふたりは
いっしょにつきすみます



お隣の上の小さな人からおとなまで!



めげないあきらめない。だいじょうぶだいじょうぶ。
自分を信じて生き抜く力はどこで育つのだろう。大人が観守るて?!
人形も舞台もお話もどこにでもありそうで懐かしくそして新鮮。
大人にも観ていただきたい
片手使い人形ならではの細やかで穏やかでパワフルな世界です。

◎ 心優しいお兄ちゃんとしっかりものの妹のお話 ◎

お兄ちゃんのチップは黒い耳、妹のチョコは白い耳。編んでもらったマフラーをおばあちゃんに見せに行ったり、お使いを頼まれてイチゴを遠くまで買いに行ったり、留守番しながらかわりばんこに梨もぎに行ったり…。喧嘩もしたりするけれどいつもふたりは大人の観守るなかたすけあって突き進みます。観ている皆様もきっと応援してくれることでしょう。

演出・美術/山根 裕子
作曲/杉本 ゆり 演奏/杉本 麻奈

主な出演者/永野 むつみ・大澤 直
花岡 沙織・新堂 素子



人形劇団
ひぽぽたあむ

人形劇団ひぽぽたあむの人形劇はおもに片手使いの人形で演じられます。俳優は衝立の後ろに隠れていて、観客の皆さんには人形しか見えません。人形は演技者の技と観る人の想像によって生き生きと動き出します。生の人間ではない「人形」だからこそあって人間の世界を深く描きだすことが可能になります。私たちはそこに人形劇ならではの世界があると信じています。